



M.V.ロモノーソフ・モスクワ国立総合大学 物理学部地球物理学科

ロシア連邦



Division of Geophysics of Faculty
of Physics, Lomonosov Moscow
State University

- 学部学生 約22,600人 ●大学院生 約15,600人 ●教職員 約11,000人
- ホームページ <https://www.msu.ru/index.php>
- 交流協定締結年月日：2018年11月28日
- 主管学部：四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構

国際交流の特色

M.V.ロモノーソフ・モスクワ国立総合大学はロシア有数の優れた大学で、世界的によく知られた総合大学の1つです。18世紀の科学者ミハイル・ロモノーソフの建言によって1755年に創設されました。39の学部で構成され、ほとんどの学部がモスクワ南東部の雀が丘の広大な敷地内にあります。校訓は「科学は清澄な真の感知で、理性の啓蒙である。」。

学術協定を締結した「物理学部地球物理学科」の津波解析研究（アリューシャン列島、サハリン周辺海域等）はロシア国内はもとより欧州の国際学会でも高く評価されています。

大学のあるモスクワはロシア連邦の首都であり、現在の政治・経済・金融・学術・文化の中心です。街の象徴であるクレムリン（城塞の意味）を中心に放射状に広がった街には、重厚な建物やロシア正教会、博物館などが点在し、ロシアの歴史・文化が凝縮されています。

交流実績（平成30年度～31年度）

協定調印式@香川大学

年度	H30	H31
受入・派遣		
学生の受入	0	0
学生の派遣	0	0
研究者・職員の受入	1	1
研究者・職員の派遣	1	0



教員からの声

M.V.ロモノーソフ・モスクワ国立総合大学はロシアでトップクラスの大学です。研究連携協定を締結した物理学部は過去に多くのノーベル賞を受賞した科学者を輩出しています。地球物理学科では津波の理論解析や津波警報研究ならびに気候変動研究も推進しています。

これまで本危機管理機構はJSPS二国間交流事業（共同研究・セミナー）を通じて津波の共同研究を行ってきました。今後は津波に加えて気候変動分野とも連携して研究を推進していきます。

四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構
特任教授 金田義行

モスクワ大学本館



モスクワ大学での講義



研究の議論



共同研究チーム

